

あなたの「つなぐ」を 応援します



事業の承継をお考えの方
まずは、ご相談ください！

磐田市

あなたの会社の「これから」を一緒に考え、 あなたの「つなぐ」を応援したい

あなたは、会社や事業の将来について、どんなことにお悩みですか？
あなたの会社の10年後を一緒に考えてくれる人はいますか？

「10年後、こんな会社になりたい」

会社の将来像につなげるためには、「会社のいま」を見つめ直すところから始まります。経営の「見える化」や会社の「磨き上げ」、そして「事業承継」により、長く継続する魅力ある会社や事業を組み立てていくことができます。

現在、多くの中小企業や小規模事業者の皆さまが事業承継のタイミングを迎えています。後継者の育成も考えると、事業承継の準備には、5年～10年ほどかかるようです。会社の大きな転機となる事業承継には早めの準備、計画的な取り組みが必要です。

磐田市では、市内中小企業等の皆さまがこれからも円滑に事業を運営していただくため、「**磐田市事業承継支援ネットワーク**」と共に、皆さまの培ってきたあらゆる経営資源の継続・発展に取り組みます。

「磐田市事業承継支援ネットワーク」とは

皆さまのお悩みをお聞きし、会社の今を見つめ、課題解決に向け、一緒に考え、サポートをします。

磐市内 事業者の皆様

- 何から始めたらよいか分からない
- 後継者が決まっていないけれど…
- 従業員に継がせる？ M&A？
- 廃業を考えているが…
 - 後継者はいないが、この技術を残したい
 - 後継者として期待されているけれど…



相談

磐田市事業承継支援 ネットワーク

- 磐田市
- 磐田商工会議所
- 磐田市商工会
- 金融機関
静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、
静岡中央銀行、浜松いわた信用金庫、
遠州信用金庫、島田掛川信用金庫、
遠州中央農業協同組合、
日本政策金融公庫
- 東海税理士会磐田支部



サポート

事業承継を実行するまでの5つのステップ

ステップ
1

事業承継の準備の必要性を認識

磐田市事業承継支援ネットワークの関係機関と事業承継に関する情報交換をし、事業承継に向けた早めの準備をしましょう。



ステップ
2

経営状況・経営課題等を「見える化」

現在の経営状況を把握し、経営の見える化を行い、課題改善に向けた方向性を明らかにしましょう。

- 事業の見える化…事業の将来の分析や経営体制を確認し、強みや弱みを再認識する。
- 資産の見える化…後継者に残せる経営資源を明確にする。
- 財務の見える化…適切な会計処理を通じ、客観的な財務状況を明確にする。

ステップ
3

事業承継に向けて会社を「磨き上げ」

ステップ2で明確にした課題を改善し、他社に負けない強み、業務の流れに無駄のない効率的な組織体制を構築するなど、企業価値を高め、後継者にとって魅力的な会社への磨き上げを始めましょう。

廃業を決める前に、まず、専門家に相談して、選択肢を探りましょう。

親族内・従業員承継

社外への引継ぎ

後継者を見つける

廃業検討

ステップ
4

事業承継計画策定

マッチング

ステップ3を進めながら、後継者と共に事業承継計画を策定、あるいは希望に合う相手と共に、マッチング条件に沿って、株式、事業用資産や経営権の移譲を進めます。税負担や法的な手続きなども、専門家に相談し着実に実行しましょう。

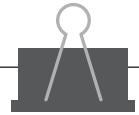
赤字が大きく膨らみ倒産となる前の廃業が最適な選択になる場合もあります。

ステップ
5

事業承継実行

M&A等の実行

円滑な廃業



有限会社 豊富製作所

代表取締役 内藤 武彦 氏

私は元々、他の会社で働いておりましたが、自分が後継者候補であることを先代より一度だけ伝えられたことがありました。それまでは全く意識しておらず、それが転機となり稼業であるこの会社に入社することを決断しました。そのため、当時から後継者となる覚悟はありましたが、先代に認めて貰うように何が必要なのかを考えて行動してきたつもりです。

一方で、親子であるがゆえになかなか「話す」ことができない難しさを感じておりましたが、今回、磐田市事業承継支援ネットワークのお力添えがあり、スムーズな承継を行うことができ、その中で多くの気づきや学びを得る機会になりました。

事業承継の機会は誰にでも与えられるわけではなく、限られた者のみに与えられるものです。創業から繋いできた想いを大切に、関わる全ての人々に幸せと、磐田市の地域活性の一助の為に、与えられた環境に感謝しながら日々精進していきます。

先代 内藤 喜義 氏

世界中が未曾有のコロナ禍にあるなか、事業承継を行って一年程過ぎました。製造業である弊社においては、この一年、新社長共々、思いも寄らぬ苦悩に悩まされております。これからの世の中は、全ての物事が我々世代とは一変してくると思いますが、培ってきた経験、知見等の協力は惜しまないつもりでいます。

私は40年程前、先代である父親と共に会社を立ち上げ、当時は徹夜も辞さず無我夢中に仕事をしてまいりました。やっとの思いで経営が軌道に乗った以降は、バブル崩壊・リーマンショック・東日本大震災等を経験することとなり、ようやくゆとりが持てるようになった4～5年前から後代への承継を模索するようになりました。

経営の健全化・ビジョン等を考え、支援機関に協力をお願いすることで無事、後継者にバトンを渡すことができました。後代においては、苦難の道が続くとは思いますが、社員や家族、社会に信頼され地域に貢献できるよう、精進してくれることを願っています。

「毎日の業務に追われ、なかなか事業承継のきっかけがつかめない」、「事業承継の課題は多岐にわたるので、何から始めればいいのかわからない」「後継者と事業承継の話をしたいが、きっかけがない」といった悩みを持つ中小企業の経営者は多くいます。中小企業基盤整備機構の専門家派遣は、このような事業承継のスタート段階で困っている中小企業のための制度です。経営者と後継者が、専門家を交えて対話を重ねることで、事業承継に計画的に取り組むきっかけを作ることができます。

豊富製作所さんは、専門家派遣を活用して、2020年2月に息子の武彦氏に事業承継されました。豊富製作所さんのように、一歩を踏み出して、具体的に行動を起こしてみませんか？



独立行政法人中小企業基盤整備機構
関東本部 連携支援部 連携推進課
事業承継コーディネーター 富永 治 氏

事例紹介 第三者承継



**株式会社
クレスト・ジャパン**
代表取締役 西片太郎

私はホームセンターに約23年間勤務し、店長まで経験しました。会社員には「役職定年の壁」という大きな問題があり、将来に対する強い危機意識があったため48歳で独立をしました。独立を考えた際、後継者のいない中小企業の多くが倒産している社会問題を知るに至り、そのような会社を個人M&Aで承継した方が起業リスクを軽減できると考え、静岡県事業引継ぎ支援センターの後継者人材バンクへ登録しました。承継のために行動するなかで、理想と現実のギャップに何度もくじけそうになりましたが、寄り添って支援してくれる支援機関の存在はとても心強く感じました。

最終的には、自分の希望する事業内容にマッチする企業を承継することができ、無事に事業をスタートさせることができました。

事前準備とご縁があった事が今回の独立のポイントではないかと思っております。スタートに立ったばかりで、まだまだ未熟な私ですが、会社員時代とは一味違う、充実した日々を過ごしております。

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターは経済産業省の委託事業として、次世代への事業承継に関する課題解決を支援するため、2012年に設立された公的な無料相談窓口です。

第三者承継による対応以外にも、後継者となる起業家を紹介する「後継者人材バンク」の運営も行っており、「創業を目指す起業家」と「後継者不在の事業主」を引き合わせます。面談後には支援機関と共に、事業内容の確認、条件面の交渉、経営計画の作成等、事業承継の支援を実施します。

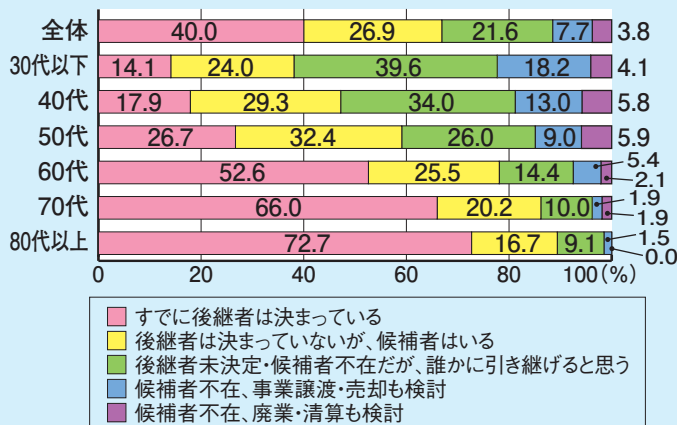
西片氏の事業承継事例は、承継企業の経営資源（既存顧客、事業実績、販路等）を活かした起業が実現できました。既存事業の承継に併せて、ご自身が従来から構想していた新分野での事業に挑戦することが出来た事例と言えます。



静岡県事業引継ぎ支援センター
統括責任者補佐 浅井哲夫 氏

県内経営者の年齢別の後継者選定状況

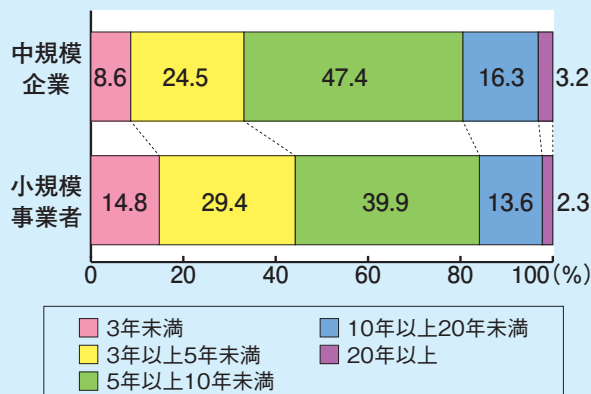
後継者不在企業は、約3割



(出典)「雇用・人材活用及び事業承継の実態調査」
(静岡銀行・静岡経済研究所 共同アンケート調査)2019年

後継者育成に必要な期間

後継者の育成に必要な期間は5～10年間



(出典)中小企業庁「中小企業白書(2014年版)」

事業承継自己診断チェックシート



会社の将来について語り合える
後継者候補がいますか？

はい

いいえ

後継者本人に対し、会社を託す意志が
あることを明確に伝えましたか？

親族内や役員・従業員の中で
後継者候補にしたい人材はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

後継者決定

承継のスタートは切れているので、計画的な
取り組みが必要です。
早めに承継に向けた
計画を立てましょう。

後継者未定

承継のスタートまで、
あと一歩ですが、この
ままでは廃業になる
リスクもあります。
まずは、後継者候補と
対話をしましょう。

後継者不在

第三者への承継も検討
しましょう。
廃業以外の選択肢も
あるかもしれません。



市では、事業承継に関する相談窓口を設置
しています。(7頁参照)

皆さんのお悩みごとの解決に向けて一緒に考えましょう。

私たちが応援します

磐田市事業承継支援ネットワーク機関

機関名		担当窓口	電話番号	相談日等
磐田市産業政策課			0538-37-4904	随時
磐田商工会議所			0538-32-2261	別途会員へ通知
磐田市商工会			0538-36-9600	別途会員へ通知
金融 機 関	静岡銀行	磐田支店	0538-32-4172	随時(要予約)
	スルガ銀行	磐田支店	0538-32-8151	随時(要予約)
	清水銀行	磐田支店	0538-32-2191	随時(要予約)
	静岡中央銀行	磐田支店	0538-34-2211	随時(要予約)
	浜松いわた信用金庫	法人営業部地域活性課 (事業承継サポートデスク)	053-401-1815	随時(要予約)
	遠州信用金庫	経営サポート部	053-472-2118	随時(要予約)
	島田掛川信用金庫	地域サポート部	0547-37-5189	随時(要予約)
	遠州中央農業協同組合	総合企画部総合企画課	0538-36-7000	随時(要予約)
	日本政策金融公庫	【小規模事業者・中小企業の方】 浜松支店 中小企業事業	053-453-1611	随時(要予約)
【農林水産業の方】 静岡支店 農林水産事業		054-205-6070	随時(要予約)	
東海税理士会磐田支部			0538-33-9388	4月～12月 毎週火曜日(要予約)

連携機関

機関名	電話番号
静岡県よろず支援拠点(静岡商工会議所内)	054-253-5117
静岡県事業承継・引継ぎ支援センター	054-275-1881

発 行

磐田市事業承継相談窓口

(磐田市産業政策課)

TEL 0538-37-4904

FAX 0538-37-5013

E-mail sangyo@city.iwata.lg.jp